

ふみびと

第327号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

遠回りの楽しみ 便利さの中に

「あえて」の時間

何年かぶりの旅行の計画。大まかにどの辺りに行くかを決めたら、次に考えるのはどういうルートでどこに行くか。

そんなにしつかり決まなくても行き当たりばったりでもいいんじゃないの、と言われることもあるのですが、そんな旅程を考えている時間が、まるで旅行の一部のように楽しいから、それを含めた「旅行」を長く楽しむためにじっくり考えているような気がします。

そうして旅行の計画を立てるために使うのは決まって旅行雑誌。

今どきネットで調べた方が早いし、情報量も遙かに多いのですが、雑誌を買う時や、家に帰ってページをめくるのも、また旅行の始まりのような気がしてワクワクさせてくれます。

もちろん効率や便利さを求めるなら、ネットなど「今どき」の手段を使うのが一番いいことは間違いのないのに、なぜか非



効率なものを好んでいるのは、非効率の過程が与えてくれるものがきつとあるから。本屋さんでゆっくり歩きながら読みたい本を選んでいる時間だったり、手紙を書いている時間や、相手から届くのを待つ時間だったり、あるいはフィルムカメラを現像するまで待つ時間を

楽しむ人もいるそうです。ネットで本を見つけたら、メールですぐに用件

を伝えるよりも、あえて楽しむための「余分な」時間を作ることの方が、好きなことをより長く楽しむ手段なのかもしれせん。

「遠回りの楽しみ」
便利な世の中だからこそ生まれたそんな楽しみ方。まだまだ便利なことの中にあるような気がしますが、楽しいことをもっと長く楽しめるようになる、そんな魔法のような遠回りが。

お知らせ

★8月の発送日

8月の次回発送日は28日の予定です。送りたいお手紙がある場合にはそれぞれ3日前（25日）までに事務局に到着することを近隣の郵便局で確認の上ポストに投函してください。

★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂き、方法は事務局宛でのメモや便せんで構いません。頂いたメッセージは個人情報をお伏せの上でご紹介させて頂きます。なお、現在ご家族・ご友人紹介キャンペーン実施中です。紹介した人された人双方に、1ヶ月分期間を延長させていただきます。

更新される価値感

デジタルのカメラが普及しはじめて、20年ほどになるという。自分自身のことを考えてみても、もう何年もフィルムカメラを手にしていない。

はじめてデジタルカメラの存在を知った時には、なんだか寂しい気持ちになったのを覚えている。特にフィルムカメラを愛用してい

な。あまりにも気軽に撮れるというの。一枚一枚に対する価値が軽くなってしまいうように思えた。けれど

な。むしろ見返すことが多くなってきたからか、思い入れが深くなった気がする。同じように見える写真のわずかなちがいを愛しく感じられるようになった。20

年前の自分に教えてあげたい。

